

事業所名	発達支援ゆず本山ルーム (児童発達支援)				支援プログラム	作成日	2025 年	2 月	17 日
法人（事業所）理念	発達支援ゆずは、「子どもの主体性を大切にし、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す」ことを理念とし、個別療育を通じて子どもたちの成長を支援します。子どもが自分らしく安心して過ごせる環境を整え、発達のペースに寄り添いながら、一歩ずつできることを増やしていくことを目指します。また、保護者と共に子どもの育ちを支え、家庭での関わりも含めた総合的なサポートを大切にします。地域社会とのつながりも意識しながら、子どもが将来に向けて自信を持って成長できるよう支援していきます。								
支援方針	発達支援ゆずは、子ども一人ひとりの発達に寄り添い、個別療育を通じて「自信を育み、できることを増やす」ことを大切にしています。 ■個性を高めた最適な療育：完全マンツーマンで発達段階に応じた支援を提供。 ■保護者との連携・支援：療育の中で随時情報共有し、家庭での関わりをサポート。 ■生活に根ざした支援：日常生活のスキルや社会性・コミュニケーション力を育む。 ■専門性を活かした支援：言語・感覚・運動の多角的アプローチで成長を促す。 ■成功体験の積み重ね：「できた！」の喜びを大切に、自信を育む。 子どもと保護者が安心して成長できる環境を整え、一人ひとりに合った支援を提供します。								
営業時間	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	子どもが安心して生活できる環境を整え、基本的な生活習慣の確立を支援します。食事・排泄・睡眠などの生活リズムを整え、自立した行動ができるようサポートします。また、清潔習慣（手洗い・歯磨き）や衣服の着脱など、日常生活に必要なスキルの習得を促します。さらに、個々の発達段階に応じた支援を行い、成功体験を積み重ねながら自己肯定感を高めることを目指します。							
	運動・感覚	子どもの発達段階に応じた運動機能の向上を目指し、身体を使った遊びや運動を取り入れながら支援を行います。バランス感覚や体幹の安定性を高めるための運動、手指の巧緻性を向上させる微細運動トレーニングを実施します。また、感覚統合の観点から、触覚・前庭感覚・固有受容感覚を適切に刺激し、環境に適応しやすい身体づくりを支援します。活動を通して運動の楽しさを感じられるようにし、自己表現や挑戦する意欲を育みます。							
	認知・行動	子どもの発達段階に応じた認知機能の向上を支援し、集中力や問題解決能力を育みます。視覚的・聴覚的な情報処理の強化を目的とした活動を取り入れ、記憶力や注意力の発達を促します。また、スケジュールの視覚化や構造化された環境の提供を通じて、予測しやすい状況を作り、安心して行動できるように支援します。さらに、ルールの理解や自己コントロール力を高めるためのトレーニングを行い、適切な行動選択ができる力を養います。							
	言語 コミュニケーション	子どもの発達段階に応じた言語の理解と表出を促し、円滑なコミュニケーション能力の向上を支援します。言語獲得の基礎となる発声や発語の促進、語彙の拡充を図るために、視覚支援（ピクチャーカード、絵本）や音声模倣のトレーニングを取り入れます。また、ジェスチャーや表情を活用した非言語コミュニケーションの力を育むことで、相手との関わりを深める機会を提供します。さらに、会話のキャッチボールや順番を守る練習を通じて、社会的なコミュニケーションスキルの発達を支援します。							
	人間関係 社会性	子どもが他者との関わりを楽しみながら、適切な対人スキルを身につけられるよう支援します。挨拶や順番待ち、ルールの理解といった基本的な社会的マナーを学び、集団の中での役割を意識できるよう促します。また、遊びや共同作業を通じて、相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを適切に表現したりする力を育みます。さらに、トラブルが発生した際の対処法や、感情のコントロール方法を学ぶ機会を提供し、円滑な人間関係の構築を支援します。							
家族支援	保護者が安心して子育てできるよう、家庭での関わり方や支援方法について助言を行います。個別療育の中で都度保護者と情報共有を行い、子どもの成長や課題について適切なサポート方法を一緒に考えます。また、保護者向けの勉強会や交流会を開催し、子育てに関する知識を深めるとともに、同じ悩みを持つ保護者同士が情報交換できる場を提供します。さらに、必要に応じて地域の専門機関と連携し、保護者が適切な支援を受けられるようサポートします。				移行支援	子どもがスムーズに次の環境へ移行できるよう、個々の発達段階や特性に応じた支援を行います。保育所・幼稚園・小学校などの受け入れ先と情報を共有し、適応しやすい環境づくりをサポートします。また、集団生活に必要なスキル（集団行動への参加、指示理解、基本的な生活習慣など）を個別療育の中で育み、移行先での円滑な生活が送れるよう準備します。さらに、関係機関と連携し、移行後のフォローアップを行うことで、継続的な支援を提供します。			
地域支援・地域連携	必要に応じて、地域の関係機関と連携し、子どもと保護者が安心して生活できるよう支援します。移行支援や保護者支援の一環として、関係機関との情報共有を行い、継続的なサポートにつなげます。また、地域の子育て支援に関する情報を提供し、保護者が適切なサービスを利用できるようサポートします。さらに、必要に応じて専門機関と連携し、発達に関する相談やアドバイスを受けられる体制を整えます。				職員の質の向上	支援の質を高めるために、職員のスキルアップを継続的に進めます。定期的な内部研修や事例検討会を実施し、支援技術や知識の向上を図ります。また、外部研修や講習会への参加を奨励し、最新の療育方法や発達支援に関する知見を深めます。さらに、職員同士の情報共有や振り返りの機会を設けることで、より効果的な支援が提供できるよう努めます。			
主な行事等	個別療育の中で、季節ごとの年中行事に触れる機会を設けています。例えば、節分やひな祭り、七夕、クリスマスなどの行事に関連した遊びや制作活動を個別療育の中に取り入れ、子どもが日本の文化や季節の移り変わりを感じられるよう支援します。また、行事を通じて言語表現や社会性を育む機会とし、一人ひとりの発達段階に合わせた活動を提供します。								